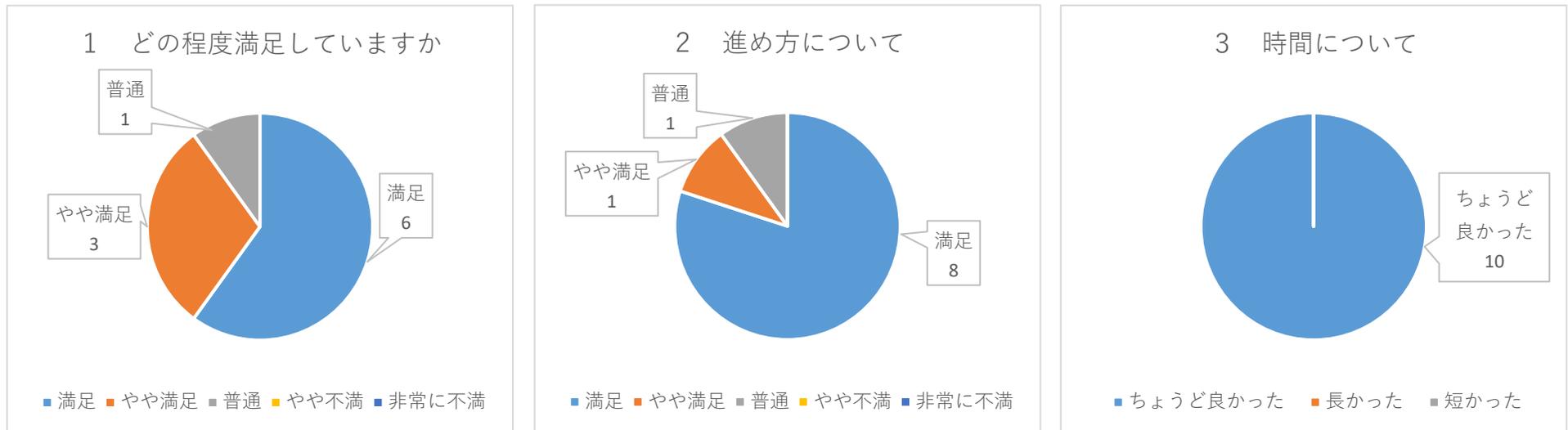


富士見市議会意見交換会 アンケート集計結果

実施日 令和7年12月16日（火）
実施主体 総務常任委員会
参加者数 11人（早退のため1人未回収）

○意見交換会はいかがでしたか

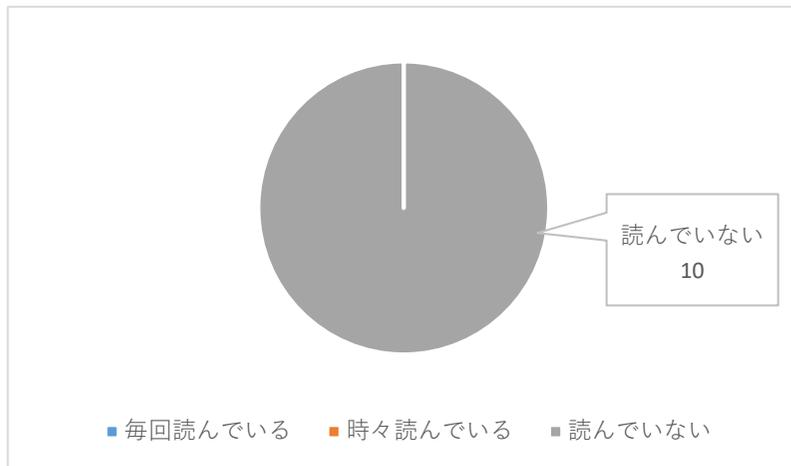


4 特に印象に残った内容は何か？

- ・投票率を見える化することはとてもおもしろいと思った。市民が見て分かる、理解できる機会を増やすことは大事だと思う。
- ・「時間がない」という意見に対して、本当に時間がないのか？選挙に行きたくないのでは…？という話が印象に残った。
- ・学生の選挙に対する考え方と市議会議員の方々の考え方の違いや改善点など、疑問点も質問させていただきながら意見交換をさせていただいたことで、私たちとのニーズの違い、議員さんという仕事についても知り、考える機会になったのでとても勉強になった。

- ・不在者投票制度について、なんとなくは分かっていたが、議員の方々の知恵を借りて明確に理解することができた。
- ・法律に触れてしまうことや何かしらの障害があっとうまく興味や関心をひくことが難しいのだと感じた。
- ・「なぜ議員になったのか」聞いたこと
- ・議員が自分の意見にとっても共感してくれた。
- ・若者向けの動画制作をするかしないか
- ・議員の方々の関わりやすさ

○「市議会だより」を読まれていますか？



○意見交換会に対してや、今後市議会に期待することなど、ご意見をお聞かせください。

- ・新たに知ることが多かった。公職選挙法や選挙の決まりごと、市がやっていること、悪いことなど、「知る」機会になった。直接意見交換するのは、選挙より「楽しい」と感じた。「楽しい」を増やして、もっと若い世代に関心を持ってもらえるようになればいいと思った。
- ・若者らしい盛り上げ方や柔軟な考えはしたいと思っているが、公職選挙法などの時間を要するような法律の問題は、これからどうしていくのか、国と自治体で連携してどうにかできないのか、ということが気になった。
- ・意見交換をとおして、普段は聞くことのできない様々な情報を得ることができた。もっと若者が市議会に対して意見を出していくことで、今後それらが反映されるかもしれない。若者の意見を聞く場を増やしていくといいと感じた。
- ・考えをぶつけてみることで理解を深め、新たに興味を持つことができたので、大学で取り組んでみるのもいいと感じた。
- ・物理的要因などの解決策は、地方でどうこうできる問題の範囲外のところもあり、国と地方の差を感じたが、現場のリアルな意見を聞くことができたので、大学でそういった課題について考えていきたい。
- ・意見交換会があることで市民の声を届けられているように思えたので、今後もこのような会を開いてほしいと思った。
- ・「政治家=カッコいい大人」のような印象を作ってもらいたい。

※いただいたご意見は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。